

## 平成27年度第2回市民と市長の対話集会

# 市長と語ろう！

# ほっとミーティング

### 開催結果報告書

- 1 開催日時 平成28年（2016年）2月17日（水）  
午後6時から午後7時まで
- 2 開催場所 市役所 庁議室
- 3 参加者 つどいの広場 アドバイザー 17人



ほっとミーティングの様子

## 4 主なミーティングの内容

### ① 各施設の近況について

#### 【市長】

本日はこのような機会を設けていただき、本当にありがとうございます。  
つどいの広場の現場で、様々な保護者の方の相談を受けて、多くの子どもに携わっていただく皆様にお集まりいただきました。改めて、日頃の活動に厚く御礼申し上げます。本日は些細なことでも、今後の平塚市の子育て支援につながることを伺えれば、大変ありがたいと思います。どうぞ、率直な御意見をお聞かせください。

今日の機会も含めて、「もこもこ」、「きりんのおうち」、「どれみ」の3施設の皆様には、お互いの情報を共有いただき、つどいの広場がより良いものとなるように、御協力くださるようお願いいたします。

また、来年度には、現在の港幼稚園と須賀保育園を統合する港こども園が完成します。この港こども園の中にも、新たなつどいの広場を設置する予定です。ぜひ、皆様が日頃取り組んでいただく中で感じる課題や提案を、新しい施設にも活かしたいと考えます。どうぞ、本日はよろしくようお願いいたします。

#### 【参加者】

「きりんのおうち」は、毎日多くの親子に利用していただきます。スーパーマーケットの中にあるので、買い物にあわせて遊びに来てくれる親子や毎日通ってくれる親子もいて、個人での利用が多い広場です。

子育ての些細な悩みや家庭内の深刻な心配など、様々な相談を受けています。最近の相談からは、新年度の仕事復帰に向けた母親の不安をととても多く感じます。母親が元気になれば、子育ては明るく楽しいものになると、一人ひとりに声をかけながら活動しています。保護者の方と我々アドバイザーが信頼関係を築き、子育てや家庭の悩みを軽減してリフレッシュする場としての役割を強く感じます。

#### 【参加者】

「どれみ」の利用者数は減少傾向ですが、施設を待ち合わせ場所にしたグループによる利用もあります。子どもを遊ばせながら、保護者の方同士が交流や情報交換をしています。運動や体を動かす遊びが好評で、特に夏のプールは盛況です。多くの見守りがある初めての水遊びは、保護者の方もとても安心しますが、水道料金が高くなることが近年の課題です。

様々な工夫したイベントも人気ですが、複合施設ということもあり、駐車場不足が必ず課題になります。イベント時には、近隣の駐車場を借りてしのいでいます。

「どれみ」での相談は、幼稚園や保育園の入園や生活に関する悩みが多いです。歩きはじめや話しはじめの子どもの利用も多いため、歩行や言葉に関する相談も多くあります。その都度、アドバイザー同士で話し合い、その場で解決するように努めています。

#### **【参加者】**

「もこもこ」は今年度の前半、利用者が少ない傾向にありましたが、10周年を迎えた秋以降に増えはじめ、例年には利用者が減る冬場も賑わっています。こどもの日などには、イベントを開催するなど、工夫して取り組んでいます。

保護者の方からの相談では、他の広場と同様に、保育園に関するものが多いと思います。特にこの時期には、希望した保育園に入園できなかったことの相談を多く伺います。

## ② 対象年齢について

### 【参加者】

「どれみ」では、施設のホールを借りてコンサートを開催したときに、つどいの広場の対象年齢が問題になりました。基本的に3歳までが対象で、弟や妹がいる場合には、就学前の子どもまで利用を認めることはあります。コンサートには4歳以上の子どもも多く、せっかく来てくれたので、ホールのみ参加を許可としました。他の広場に迷惑がかからないのであれば、今回のような土曜日のイベント時には、対象年齢を引き上げて良いかと思えます。

### 【参加者】

「きりんのおうち」では、弟や妹がいる子どもで、利用者が15人以下の空いているときに限って利用を認めています。「きりんのおうち」では昼食をとることができないので、混雑してお断りするときには、昼頃の空く時間帯を案内することもあります。当然、困惑される保護者の方もいますが、明確に線引きを行うことで、大きなトラブルになったことはありません。

### 【参加者】

「もこもこ」には、保育課からいただいた対象年齢を表示するポスターを掲示しています。同様に対象外の子どもも遊びに来ますが、一応決まりがあることをお伝えしたうえで、お断りはしません。当然、小さな子どもが増えてきた場合には、譲ってもらうようお願いしています。広場を利用される方には、皆様目的があると思います。せっくなので、子どもを遊ばせて、リフレッシュしてもらうように努めています。「もこもこ」も、対象年齢による大きな問題はありません。

### 【市長】

つどいの広場の性質上、対象年齢に線引きはあります。しかし、市職員の頃に公民館に勤めたことがある私は、施設は利用していただくことに価値があると考えます。アドバイザーの皆様には御苦勞をおかけしますが、子育てにはつながりや継続性も大切だと思います。決して誰でも無制限に利用できるのではなく、適切な範囲の中で、育ちのためのつながりや効果も考えたいと思います。

平塚市には様々な施設があり、修繕や改修が必要な時期を迎えているものがあります。全てを新しくできる時代ではなく、これからは効率的な集約が求められます。若い世代をはじめとする市民の皆様が使いやすい施設となるように、計画を進めているところです。

ようやく下げ止まりの兆候が見られる人口ですが、少子高齢化は平塚市でも顕著です。現在の平塚市の人口は、約25万7,000人になりました。この時代の中で、若い世代の方に選び住んでもらわなければ、このまちのつながりは決して生まれません。幼稚園や保育園にもつながるつどいの広場も、若い世代の方が平塚市を選ぶ要素となるように、今後も取り組んでいきたいと考えます。

**担当課回答**（集会後、次のとおり担当課に確認しました。）

つどいの広場の対象年齢については、「0歳からおおむね3歳までのお子さんとその保護者」とし、内規には、「原則的には0歳から3歳11か月までの児童とその保護者」と定めているところですが、同じく内規には、「例えば上のきょうだいと一緒に連れて来る方や、アドバイザーや他の保護者と交流・相談の場として広場を利用したい方、その他の理由から4歳以上の児童とその保護者であっても広場の利用を強く希望される方がいる。このような希望を持つ方に対し、子育て支援の視点から、他の利用者の妨げにならないとアドバイザーが認める場合に限り、利用を認めるものとする。」としています。

従って、原則的には「0歳から3歳11か月までのお子さん」が対象となりますが、他の利用者の妨げにならない範囲でアドバイザーの判断で利用させて構いません。

なお、個々のつどいの広場の独自のイベントにあっては、施設ごとに状況は異なるものと思いますので、必要に応じて本市保育課に御相談ください。

（事務担当は保育課子育て支援担当）

### ③ 利用者の相談について

#### 【市長】

私から御質問ですが、若い世代の保護者の方から多く相談を受けていただく中で、つどいの広場だけでは解決できない問題もあるかと思えます。市役所の担当課につなぐ方法や解決のために必要な福祉や教育の体制の強化など、現場で活動いただく皆様が感じるものがあれば教えてください。

#### 【参加者】

広場の中だけで解決できない専門的な相談が必要と思われるときには、保育課や子ども家庭課に連絡します。担当の方には、訪問や連絡による対応をしていただくこともあります。家族関係に悩み、「自分が生きている意味が分からない。きりんのおうちにいるときだけ、人間であることを感じる。」とまでお話される母親がいます。まさに、アドバイザーだけでは解決できませんが、毎日広場に通ってアドバイザーと話し考えていこうと声をかけています。

#### 【参加者】

精神的に悩んでいる保護者の家庭では、何らかの形で子どもに影響が出ることがあります。つどいの広場や幼稚園、保育園などを利用した保護者の方が気分転換できる体制も、子どもの健やかな育ちにつながると思えます。

#### 【市長】

今、虐待をはじめとする、子どもの命に関わる多くの出来事があります。救える命を失うことほど、悲しいものはありません。小さなサインを見逃して、福祉や教育につなげられなかった後悔をすることは絶対に嫌です。行政は何らかのアンテナを張って情報を得ることが必要です。災害時の避難勧告では、「空振りをして、見逃しをしてはいけない。」と言われます。命を守るという点では同じことです。虐待などの兆候を感じた際には、ぜひ遠慮なく伝えてください。保護者の方のことも同様です。市役所には、保健師や社会福祉士など、様々な専門家がいます。具体的な対応やアドバイザーの方への助言など行えることはありますので、御相談くださるようお願いいたします。

#### 【参加者】

広場の相談や生活では、様々な家庭の課題や問題に気づきます。子育て支援のつながりのためにも、入園する幼稚園や保育園に情報を伝えることは可能でしょうか。プライバシーに関わるので、幼稚園や保育園に変な先入感を持たれるのは心配ですが、情報を把握することで対応できることもあると思います。

**【市長】**

子どもの育ちのために、心配なことを伝えられる体制は必要です。つどいの広場から直接でなく、市役所を通してお話する方法もありますので、御相談くださるようお願いいたします。

虐待と同様の課題に、子どもの貧困があります。6人に1人が十分な教育を受けられないと言われていています。そのような家庭が増えていることも事実です。福祉とのつながりは子育てに大きく影響しますので、適切なつながりが行える体制づくりにも、真摯に取り組んでいきます。

**【参加者】**

障がいへの行政の対応はとても充実しました。保護者の関心も高まり、健康診断を受けて子どもの発達を心配する相談が増えました。我々は専門家でないので、平塚市のこども発達支援室「くれよん」などを案内します。しかし、申し込みが非常に多らしく、十分な相談をすることや指導を受けることができません。例えば、保健師などの専門家の方によるつどいの広場への定期的な訪問があれば、保護者の方は安心して相談できると思います。

**【市長】**

同様の御意見は、多くの方からいただいています。発達障がいへの支援の充実を図って大きく予算を増やしていますが、十分でないことも認識しています。福祉と教育の連携強化が必要になる課題ですので、しっかりと体制づくりに取り組んでいきたいと考えます。

また、つどいの広場への専門家の派遣も、年中は難しいことですが、定期的なものは支援の充実になりますので、担当課にお伝えさせていただきます。

**【参加者】**

相談の中で、ドメスティック・バイオレンスを心配することがあります。アドバイザーによる指摘は難しいこともあるので、自ら気づき相談してくれるようにと思います。そこで、公共施設のトイレにある、ドメスティック・バイオレンスの相談を案内する電話番号が書かれたカード付きのポスターがあります。それを広場がある施設のトイレにも貼ってみてはいかがでしょうか。

**【市長】**

御意見のとおり、ドメスティック・バイオレンスの判断は難しいです。自ら相談していただくことも解決につながります。掲示していただくことができればありがたいと思います。担当課に相談して御連絡させていただきます。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

「市長と語ろう！ほっとミーティング」で御意見をいただきました、ドメスティック・バイオレンスの相談を案内するカード付きのポスターの配布については、それぞれのつどいの広場に既に配布したところです。ぜひ、御活用くださるようお願いいたします。

（事務担当は保育課子育て支援担当）

#### ④ 災害時の運営について

【参加者】

大雨や大雪、竜巻などが身近で多くなりました。悪天候のときには、危険な外出をせずに自宅にいても大切です。児童や生徒の安全の観点から、学校も休校になることがあります。利用者の理解は必要ですが、保育園とは違うつどいの広場の性質を考慮して、臨時的に閉めることも必要ではないでしょうか。

【市長】

つどいの広場は避難場所には指定されていません。御意見のとおり、悪天候の際に子どもを連れだすことには危険が伴います。自宅にすることが必要な場面もあります。今後の課題として、考えさせていただきます。

**担当課回答**（集会后、次のとおり担当課に確認しました。）

悪天候時やお子さんの体調が優れないときなどに、つどいの広場の御利用の自粛を呼びかけるのは大切なことであり、このようなときに御利用を控えていただくように御案内している「平塚市役所からのお願い」を日頃から掲示していただいていることと思います。

しかしながら、市が委託している「つどいの広場」は公の施設に準じるものであり、それぞれの施設の開所日については、市民の皆様に広く御案内しているところです。また、悪天候等の災害のときには、不安心から、つどいの広場のアドバイザーへ電話により相談したくなる方もいらっしゃるかと推察します。従って、「定められた開所日には開所する」ことが原則であると考えますが、施設やその周辺に被害が生じた場合など、災害の状況によって本市保育課と協議した結果、一時的に閉所する場合もあるものと考えます。

（事務担当は保育課子育て支援担当）



## 4 市長によるまとめ

本日はお仕事の後のお忙しい時間に集まっていただき、貴重な御意見を聞かせていただきました。本当にありがとうございました。将来の平塚市を担う子どもを育てることも我々の大きな役目です。地域の宝である子どもや保護者の方のために、平塚市の子育てを現場で支えていただいている皆様に改めて御礼申し上げます。

私も2期目に入り、平塚市は安心安全なまち、子育てや教育環境の充実による住みやすく選ばれるまちを目指しています。子育て世代の方に選び住んでいただくためにも、皆様には御苦勞をおかけしますが、今後とも御協力くださるようお願いいたします。「子育てするなら平塚で」を実現すべく、機会があればまた皆様とお話させていただきたいと思います。今日は本当にありがとうございました。

## アンケート結果報告

【アンケート回答数 8件】

問1 市長の説明や市長との対話はいかがでしたか。

よかった	7人
まあよかった	1人
どちらともいえない	0人
あまりよくなかった	0人
よくなかった	0人
回答なし	0人

問2 本日の「ほっとミーティング」のご感想について。

- ・今回出た課題が良い結果になるように期待しています。
- ・忙しい市長がゆっくりと腰を据えて話を聞いてくれる良い機会でした。
- ・保育士の派遣や保健師の講座等、市役所職員の力を借りながら連携を強化して、事業を継続できれば良いと思います。
- ・市長の本心が伺えて、良かったです。
- ・良い交流だったと思います。
- ・自分たちの状況をお伝えする良い機会でした。ありがとうございました。
- ・短い時間でしたが、話が煮詰まって良かったと思います。
- ・市長の生の声が伺えて良かったです。ありがとうございました。
- ・市長と直接お話できて良かったです。
- ・市長に現場の想いや実態をしっかりと受け止めていただき、今後の市政に活かしていただけたらと期待しています。
- ・つどいの広場のさらなる充実に向けて現場でも努力していきます。
- ・短い時間でしたが、有意義なミーティングでした。
- ・前向きな検討を期待しています。